

豊中の未来を描こう！！

発行 2012年 5月

VOL. 67

あっと言う間に
G. Wが
終わってしま
いました・・・泣

豊中市議会議員
無所属・未来派

か ん ば ら こ う い ち ろ う

神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

◆ 2012年度の予算審議 ～文教常任委員会にて～ ◆

毎年3月は次年度の予算審議を行います。次年度に市民の税金がどのような施策、事業にどれだけ使われるのかを審議します。所属する文教常任委員会での質疑の一部を紹介します。

【これが現実！！豊中市内の 学力・経済力の地域間格差】

Q. 子どもの学力と各世帯の経済力との関係性と、
学校間格差の実態は？

A. 就学援助を受けている児童、生徒の割合は平均約2割。4割強にのぼる小中学校がある一方、5%程度の小学校や、1割程度の中学校もある。就学費の貸付申込率の市内平均は約2.7%だが、最も高い中学校は、9.1%。私学への進学率も市内平均は約12%だが、就学援助を受けている生徒の割合が最も低い中学校区の私学進学率は約28%。各校の学力課題を解消していくことが、学力の学校間格差解消につながると認識しており、特に学力課題の大きい学校には、選択と集中による支援に努めていきたい。

(意見) 学校間の学力格差は、経済的格差も影響していると思います。過剰と思うくらいの取り組みを実施しなければ、そう簡単に学校間の学力格差は解消されません。

【これがいじめの現状！！】

Q. 平成22年度の小中学校でのいじめ件数は、それぞれ47件、69件となっている。この件数は、どのように把握されたものか。また、具体的にどのような内容だったのか？いじめを発見したり、相談を受けた場合、どのような対応をしているのか？

A. 件数は、文部科学省の調査によるもので、内容は、クラブ内で悪口を言う、ホームページへ悪口を書き込む、給食時の配膳を受け取らない、携帯電話に中傷メールを送る、無視するなど。いじめを発見したら、いじめられた児童生徒の側に立ち、聞き取りやケアを行い、いじめに関わった児童生徒に対して、いじめは絶対許されないと姿勢を示し、正確な事実確認と、行為の反省と相手の心の痛みへの共感を生み出す指導を行っている。

(要望) 大人が気付かないいじめがあるとの認識を常に持ち、少しでも、いじめに悩む児童生徒自らが安心して相談できる体制の強化、構築をして欲しい。

【子どもたちを自転車事故から守ろう！！】

Q. 各小中学校での自転車の安全教育の実施状況は？

A. 模擬道路による実地訓練を13の小中学校で実施。多くの学校では、警察や市職員の講話での指導やDVDの貸し出しによる校内指導を実施。各校で児童会や朝会時、長期休業前にリーフレット等を使用し、講話での指導を実施している学校も数校ある。中学校では2校で警察などの指導を実施、その他は年度初めのオリエンテーションや朝会時などで指導している。

(意見) 子どもたちを自転車事故の被害者にも加害者にもさせないように、各学校で交通安全教育を積極的に実施すべき！！

【学級崩壊って豊中市でも発生している！！】

Q. 市内の小中学校でも学級崩壊は発生しているのか？

A. 学級崩壊は、市内小中学校でも散見される。対応としては、校長、教頭や学年の教員が学級に入り複数指導体制をとる、学年で合同授業や集団活動を行う、スクールソーシャルワーカーを派遣する、保護者に協力を求めるなどの方策を講じている。

(意見) 学級崩壊は、教員、児童生徒、保護者など様々な複合的課題から起こりうるもので、学校と家庭、学校と地域、家庭と地域の互いを知り、理解し、協力し合える関係作りに日頃から意識し、あらゆる手法、手段を通じて取り組むべき！！

【(仮称) 豊中市こども健やか 育み条例のねらいとは・・・】

Q. 条例制定の目的と、期待することは？

A. 児童の権利に関する条例の理念をふまえ、家庭・地域・子ども関連施設及び市の役割や責務を明確にし、施策の基本となる事項を定めることが目的。子ども施策を地域・自治体が独自に、総合的かつ継続的・安定的に推進していくことができると期待している。



皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス

young_spiritjp@yahoo.co.jp

TEL/FAX 番号

06-6854-5664



◆ 新しいごみの分別方法はどうでしょうか？～あまり好意的な声が聞こえてきませんが・・・～◆

4月から、ごみの分別方法が変わりましたが、「かなり手間が増えた」、「複雑で理解できない」、「プラスチック製容器包装を水洗いするため、水の使用や汚水の増加で環境に悪いのでは」など、否定的なご意見やご不満の声をしばしば伺います。皆さんはどんな感想、印象をお持ちでしょうか？

私は、これまで一貫して、この新分別及び豊中市のごみ処理方法には大きな課題、問題があると指摘してきましたが、最大の課題・問題点は、プラスチックごみの処理方法にあると考えています。



疑問① プラスチック製容器包装の分別は必要か！？

市内全域での分別収集が開始されましたが、市内約3割で先行実施されていたモデル地区の分別協力率は約40%と低く、プラスチック製容器包装の処理・収集費用は可燃ごみや不燃ごみに比べて、かなり割高です！！
また、市民が分別し排出しても、その半数がリサイクルされず、可燃処理されてきました！！

ごみ処理・収集費用の比較

	可燃ごみ	不燃ごみ	プラスチック製容器包装
処理単価	12000 円/t	17000 円/t	18700 円/t
収集単価	17300 円/t	40400 円/t	97800 円/t

疑問② 熱回収の方が環境負荷を軽減できるのではないか！？

市民がどれほど分別に手間をかけても、現在のリサイクル技術では、必ずしも環境保全につながりません。そのため、全てのプラスチックごみを可燃ごみとして収集し、出来る限り熱回収をする方が、環境負荷の軽減、コスト削減につながると考えます。もちろん、ごみの減量には最大限努めるべきですが、分別をできる限り簡略化することで市民の混乱や負担の解消にもつながるはずです。



(神原の提案)

- ・ごみの新分別についての市民意識調査を早急を実施すべき！！
- ・全てのプラスチックごみを可燃ごみとして収集し、熱回収(サーマルリサイクル)することを真剣に考えるべき！！

【神原のつぶやき(ひとり言)】

- ・迷ったらプラスチックは可燃物で排出しよう。(半分以上のプラスチックごみは燃やされているのだから・・・)
- ・洗うぐらいならプラスチックは可燃物で排出しよう。(節水と下水の汚染防止につながるのだから・・・)
- ・税金の歳出抑制を考えるなら、プラスチックは可燃物で排出しよう。(処理、収集費用を考えると一目瞭然)
- ・本当にリサイクルされているのか怪しすぎる。(分別してもリサイクルされていなければ、骨折り損)
- ・公共施設ではプラスチックは可燃物扱いしている。(なぜ、市民(家庭)にだけ分別を求めるのか)
- ・客観的な評価や明確な説明、判断材料が乏しい。(政府の原発への対応に似ている気が・・・)

インフォメーション

豊中市議会 5月定例会の予定

- ◆本会議(初日) 5月17日(木) 午後1時から
 - ◆本会議(役員選挙) 午後1時から
5月22日(火)、24日(木)、28日(月)
 - ◆各常任委員会 午前10時から
5月30日(水)、31日(木)、6月1日(金)、4日(月)
 - ◆本会議(個人質問) 午前10時から
6月14日(木)、15日(金)、18日(月)
- ※変更する場合もございますので、議会事務局までご確認下さい。(議会事務局議事課:TEL:06-6858-2633)

発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階
TEL&FAX:06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

「つながり日記」毎日HPで更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

